

No.とプログラム名	No.55 水と野菜のふるさと 道志村と昭和村を体験しよう！
実施日・回数	8月6日（火）午前、午後 計2回実施
会場	【中区】 横浜市役所 アトリウム
参加児童数	16人
企業・団体等名	横浜市政策経営局広域行政課 横浜市水道局広報課 山梨県道志村 群馬県昭和村
参加の目的 (150文字程度)	様々な社会体験を通じた「人との交流」の場や「他自治体との友好交流」について考える機会を提供するため、横浜市の友好交流自治体である「山梨県道志村」と「群馬県昭和村」の協力を得て実施。

プログラム内容

道志村

- ・きれいな水と水源涵養林の関係を学ぶ実験を行いました。
- ・道志村役場職員より、道志村の特徴等を説明。また、道志村の間伐材からできたパズル体験、SDG s の講話を実施しました。



木のパズルを説明する様子

昭和村

- ・昭和村の概要について説明。畑の様子やトウモロコシの収穫方法は動画による説明を行いました。
- ・昭和村の農家さんとオンラインで繋ぎ、子どもたちとの質疑応答を行いました。



クイズを交えた昭和村の概要説明

参加児童の感想

「道志村・昭和村に行ったらやってみたいこと」
をテーマに、3班に分かれて振り返りを実施。

道志村

- ・木のパズルを自分で作ってみたい。
- ・道志村のきれいな川で遊んでみたい。 等

昭和村

- ・とれたてのトウモロコシを昭和村で食べたい。
- ・いろんな野菜の畑を見てみたい。 等



農家さんに質問をする参加児童



振り返りの発表をする様子



実験装置に水を投入する参加児童

学生サポーターの感想

- 私は小学生の時に子どもアドベンチャーカレッジのような、自治体が主催のイベントに参加したことはありませんでした。今回学生サポーターとして運営に携わり、このように楽しみながら学ぶイベントがあることを知りました。
- 実際に子どもたちから「とうもろこしの収穫を試みたい」「川遊びしたい」など率直な感想を聞くことができ良かったです。
- オンラインで現地の方とコミュニケーションを取り、実験や体験が含まれたイベントに参加している小学生が楽しんでいる様子を見ることができ、サポーターとして貴重な体験をすることができました。



パズルを補助する学生サポーター



振り返り会の司会をする学生サポーター